

# みんなに幸せが 届きますように—

2021.12 No.1046  
令和3年12月1日発行

編集・発行 鶴ヶ島市秘書広報課

〒350-2292 埼玉県鶴ヶ島市大字三ツ木16-1 ☎ 049-271-1111(代) 049-271-1190

市ホームページ



さいとうれいな  
齋藤玲奈さん(彫刻)

藤小学校、藤中学校卒業  
第105回記念二科展 彫刻部『果報者』出展  
「彫刻の森美術館奨励賞」受賞

## 夢のような受賞

受賞の知らせを聞いた瞬間を、「予想もしていなかったので、驚きました。ずっとその業界にいらつしやる何十歳も年上の方々が出展するような大きな舞台で、この前始めた私が高さか、って」と振り返ります。

受賞作『果報者』は大学の卒業制作で、重さ40〜50kgの大作。しかし驚くことに、木の彫刻は自身初のチャレンジだったそうです。

## 『果報者』ができるまで

素材となる丸太の買い付けは昨年の2月。その後、コロナ禍により大学は度々入校禁止になりました。困難を乗り越え、長い時間をかけて作り上げた作品。その制作過程について、「専門的知識もなく、チェーンソーを使ったのも初めてでした。作業できない時期があったことも、結果しっかり作品に向き合えたので、良かったと思っています。知識や道具の扱いなどすべてが甘いまま短期間で仕上げると、『ここをもっとこうしたいな』と気付けることも多くあったので」と語ります。

『果報者』というタイトルの由来を聞くと、「ウミガメは幸せを運ぶ生き物。作品を見た人にウミガメが幸せを運んで来てくれます。だから、あなたは幸せ者(果報者)です、という意味を込めました」と教えてくれました。海の生き物が大好きで、水族館ではずっとウミガメを見ているという齋藤さん。その作品には、素敵な思いが込められていました。

「たとえば粘土なら、制作途中で足し算引き算ができますが、彫刻は引き算しかできません。彫っている部分だけ見ていると、ついやりすぎてしまうことも多く、『果報者』は、失敗と成功を繰り返して、一緒に成長しながら出来上がった作品です。彫り進める部分ごとにかく多かったので、『大変な生き物を選んじやったな』と途中で思いましたけど(笑)」と、難しさでもあり魅力でもある、彫刻の奥深さを語ってくれました。

## 彫刻の面白さ

大学を卒業し、就職した今もその胸には、変わらぬ思いがあるようです。「ゼロからモノを作り出すことはやめたくないです。家の中に物体のない部屋ってないから、どこかで生かせると思うので」と語る表情や言葉の端々からは、モノづくりへの、強く、そしてあたたかな思いが伝わってきます。齋藤さんの作り上げるものは、これからもきっと多くの人に幸せをもたらすことでしょう。

## これからもゼロから何かを

毎日のように特殊詐欺による被害が報道されています。きっとみんな気を付けているはずですが、被害は続いています。犯人は、常に新たな手口、より巧妙なやり方で私たちを騙そうとしています。「自分は大丈夫」ではなく、「自分もいつかは・・・」と考え、日頃から意識的な対応を心がけたいものです。

### 編集後記

ご意見・ご感想は秘書広報課広報広聴担当へ  
☑10200001@city.tsurugashima.lg.jp

